

2025年度 学校法人早稲田学園 わせがく高等学校 自己評価

目指す学校像	本校の教育スローガン〔自由・個性・夢育〕を基幹にし、2025年度は次のような学校を目指し、本校の特色を明確化していく。 (1) 生徒一人ひとりの夢、人権及び個性がお互いに十分に尊重され、いつも楽しい雰囲気にあふれる学校。 (2) 生徒が卒業までに、自立して生活できるように、人としての基礎基本(各教科の基礎学力・基本的生活習慣・社会的人間性等)を身につける学校。 (3) 地域を理解し、地域に貢献し、地域に信頼される学校。	評価基準 【5】100%以上達成 【4】95%以上達成 【3】90%以上達成 【2】70%以上達成 【1】達成70%未満
中期的目標とその方策	目標	
	(1) コミュニケーションを重視し、担任・生徒・生徒間の心の通い合うHR活動と、教育相談を活用し、保護者の理解と支援をもって実現し、週5日の通学と自立した進路決定を目標とする。 (2) 生徒一人ひとりに応じた基礎学力の定着と発展的な学習の向上を図る。 (3) 将来を見据えた適切な職業観と人生観を育成する進路指導を実施し、進路決定率100%をめざす。 (4) 教員一人あたり生徒60人の担任掌握力の錬成、転退学を出さない指導。	
	2025年度方策	評価
	(1) 「分かる授業」「魅力ある授業」に向けての改善・工夫。(学校評価アンケートで70%以上の同意)	5
	(2) 教育相談活動と教育相談研修の充実。(不登校改善率80%以上)	5
	(3) キャリア教育の充実及び多様な体験活動の場の確保。(インターンシップ参加者延べ50名以上)(うち夢育10名以上)	1
	(4) 個別指導学習プログラムの実施。個別指導人数を800名以上とする。(すらら実働ID数+各センター個別指導人数)	2
	(5) 中学校・高校・地域への広報と連携の充実、及び重視かつ組織的な取り組みによる広報力の強化。(訪問担当校(中高)を年2回以上訪問する)	3
	(6) 短期留学の定着。(生徒参加人数/15名以上)	5
	(7) 早稲田予備校との連携。(marchクラス以上現役合格延べ30名以上)	1
(8) 新入生の5日制の在籍率を確保する。(50%以上)	3	
(9) (問い合わせから出願)合格発表入学者までの完全WEB化(科目履修生を含む)	1	
(10) 3月末生徒数3300名(うち夢育700名)	4	
		3.0

分掌名 各分掌 今年度の取組目標と方策

生徒募集	生徒募集	2025年度末在籍生 2500名以上以上の在籍生を目指す。	4	
		2026年度 新入生 330名以上 の新入生獲得を目指す。	2	
	2.8	エリア別会議年3回以上、全体会議年3回以上実施する。エリア別会議には生徒募集担当も積極的に参画し、情報交換や新規提案、学園全体で募集活動に従事する体制作りを目指す。	3	
		科目履修生50名以上の在籍を目指す(前後期合計)	2	
3.7	5.0	HPのまめな更新、コンテンツの充実、操作性の向上に取り組む。わせがく高校HP上での資料請求件数、学校見学会・個別相談会予約件数を合計3000件以上とする。	5	
		新聞・雑誌(印刷媒体)広告から、実効あるWEB広告への転換を継続して促進する。予算は前年度の水準を維持する。	5	
教務	4.2	ダイヤモンド・クエスト・カップの生徒満足度を85%以上にする。	5	
		クラウドキャンパス・スタディサプリを活用し、単位修得率を全体の96%にする。	5	
		適切な評価のため、レポート・試験の作成と取り組み方を監督する。(成績、評価等に関するミス各教科2件以下)	1	
		全体研修の充実を図る。(満足度85%以上)	5	
		生成AI促進のため、校内生成AI学習会を年に2回実施する	5	
	3.5	ディア 図書委員	LibrariEを利用して、教員・生徒合わせて延べ4000冊以上本を借りる。	2
			LibrariE図書日より年2回以上の発行	5
	3.7	夢育委員会	夢育newsを年2回、前期と後期に発行し、生徒一人一人の夢育のきっかけとなるイベント・事業をそれぞれ100件以上紹介する。	5
			生徒募集にもつながる夢育プログラムで参加人数を1000名以上(うち中学生を100名)にする。 校歌指導の徹底と定着。	5 1
	4.1	5.0	留学委員会 アデレード短期留学と3回の事前学習会を実施する	5
2026年の留学先を決定し、その留学参加希望者数15名以上とする。			5	
生徒指導		自立した個人として、他者を思いやり尊重する心や態度を育て、いじめ件数ゼロの学校を確立する。	5	
		生徒指導上の理由による退学者ゼロを目指す。	4	
		特別指導の対象となる生徒延べ15名以下を目指す、予防的生徒指導を推進し、生徒の意識改革を図る具体的方策を考え、実践する。	4	

生徒指導	3.5	不慮の事故や自殺などで、1人も生徒の生命が失われることのない環境を教育相談や関係各所と連携して作る。	1
	学校安全委員会	年間の各キャンパスの校内事故発生件数1件を下回るよう、事故減少及び防止への積極的な取り組みを目指す。	2
		避難・防災訓練の実施。(多古本校・飯能本校は年間2回、その他校舎は年間1回以上)避難・防災訓練が実施できない校舎は防災・災害講話の実施をする。	5
	4.0	学校備蓄品を無駄にしないよう計画的な消費・補充をおこなう。	5
	4.2	教育相談室	ケーススタディにおいて、計画・実行・評価の機能を充実させ、多角的な見方を通して生徒一人により多くの人が関わられるよう、チーム支援の拡充を図る。
生徒掌握力の向上に向けて全体研修会や教育相談研修会など、より多くの教員が能動的に学べる校内研修を年2回は実施し、生徒対応の専門的・研究的要素を深める。			5
生徒状況報告を随時活用し、不登校傾向の生徒状況を全体的に把握しながら、不登校改善率80%を目指す。			5
5.0	不登校克服フォーラム等の校内外の教育相談研修会の参加を推奨し、知識・技能を身につけたスクールコーディネーターを1名育成する。	5	
進路指導	進路指導	教科・LHR・特別活動・総合的な探究の時間など、学校教育活動全体を通して指導を行う。生徒の無限の可能性を引き出し自分の夢を実現させるために、1年次から探究や体験活動などを基にして、自分の進路の物語を作成させていく。また、自己実現に必要な能力・認知領域の伸長を図るべく、3年間を通じて基礎学力を定着させ、応用力を身につける学習指導を目指す。さらに、生徒自身が社会の現象に関心を持ち、自分の力で解決する思考力を養成するための指導をおこなう。(進路決定率80%以上)	4
		進路指導計画にもとづき実行することで、社会的自立を目指した進路指導(キャリア教育)を充実させる。(進路ガイダンス等を各校舎4回以上)	5
		職業体験、職場見学(年間のべ110人以上)など体験の場の確保や公的機関と連携し、進路に対する意欲を促進させる。	5
4.8	4.8	指定校の獲得200校	5
特別活動	特別活動	eスポーツ大会・修学旅行において、行事参加者の意見を収集し、次年度へ反映する。平均90%以上の良い評価(非常に良い・良い)を得られるように満足度の高い内容と体験学習の場を提供する。	5
		学校全体行事参加率の向上を図る。5日制の式典以外の全体行事(eスポーツ大会・修学旅行・1年次遠足)参加率平均75%以上を目指す。	5
5.0	5.0	全体行事参加率向上のため、各校舎5日制の校外学習・集中体育の参加率平均80%以上を目指す。	5
保健厚生	保健厚生	職員による生徒の健康状態把握、且つ生徒自身による健康管理を行うために、健康診断・歯科検診の未受診者を在籍者の150名未満にする。	1
		健康診断の受診率を高めるため、未受診者への受診勧告送付を年に4回(5月・7月・11月・1月)、Google Classroomでの呼びかけ記事掲載を年2回(7月・12月)長期休暇前に実施する。	5
		緊急連絡カードを管理・活用し、学校生活・旅行時の緊急時に対応する。	5
事務局	事務局	業務の合理化及びキャンパスと事務がより連携できるように、5部門以上のシステムについて構築・改善を図る。	5
		学費未納による卒業保留者を卒業対象者に対し1%以下にする。	5
		在籍生の学費未納額100万円超を5名以下にする。	5
	奨学金相談室	わせがくのホームページ上からアクセスできる奨学金相談室サイトを開設し、随時更新できるようにする。	1
		Google Classroomに掲載するための情報提供を行う。(年7回)	5
3.7	3.7	大学等奨学金予約について、キャンパスでの説明会および登録相談会を実施してサポートを行う。(10日以上)	5
3.5	同窓会委員会	HP内にわせがく・夢育で合計14以上のリンクを掲載する。	1
		各校舎で1つ以上の同窓会を実施する。	1

重点的数値目標と方策

(1) 出席率の向上	出席奨励の連携を積極的に行い、生徒面談・保護者面談を充実させる。[皆勤者を144名以上とする]	5
	長期欠席を未然に防ぐため、必要に応じて家庭訪問を実施し、生徒の通学意欲を向上させる。(生徒状況調査で全日型生徒の長期欠席者を20%未満とする)	3
(2) 退学者の減少	生徒面談・保護者面談を充実し、生徒の学校不適応の行動を見逃さない。[退学者16名以下とする]	1
	保護者との連携を強化し、常に適切な連絡を家庭と取り合う。[転出者を7名以下とする]	1
(3) 資格取得の奨励	生徒の学習意欲を高める検定の実施。(受験者数延べ1500名)	5
	資格取得のための学習を提供する。(各種検定合格者延べ800名)	5
(4) 進路決定率の向上	卒業率を97%以上とする。	5
	個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。(進路決定率80%以上)	4
	適性検査・学力検査(参加率70%)進路ガイダンス等を早期に実施し、進路に対する意識を高める。	4
	早稲田予備校との連携を図る。(marchクラス以上現役合格延べ30名以上)	1
(5) 部活動の充実	部活動の活性化に努め。生徒に充実感、達成感を持たせる。(全国大会での入賞1部以上)	5
	部活動を通じ、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係を深める。(学校評価アンケートで45%以上の同意)	5
	部活動、同好会の加入者延べ数を690名(内夢育210名)とする。	5
(6) 本校(通信制課程)理解の促進	全教職員が協力して、地域の中学校・高等学校の教職員との連携の強化を図る。(訪問担当校(中高)を年2回以上訪問する)	3
	本校(通信制課程)理解促進のための中学校・高等学校等訪問の強化、訪問中学約1850校とする。	4
	学校行事・フェア・キャンパス行事等、様々な機会を通じて入学者が来校する機会を多く取り入れ、新入出願許可書の発行を60枚以上を下限とし、総数13200枚以上とする。	5
	また、2025年8月末までにわせがく・夢育合計出願許可書610枚以上とする。	
	2025年5月1日付わせがく生2270名	4
HP・SNSの充実を図る。各校舎のHP・SNSの更新を平均週1回以上とする。	3	
		3.8